

文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）活用事例 【兵庫県】加古川市立加古川中学校

兵庫県の加古川市立加古川中学校 澤 伸明 先生から、MEXCBTの活用についてお話を伺いました。
 加古川中学校は、MEXCBTの令和5年度の学校別解答数の累計が、全国で1番多くなっています（令和5年6月時点）。そこで、たくさんの活用をされている工夫や、たくさんのお話にあたられたからこそ分かったこと等について、お話を伺いました。
 ■■■学校HPのURL <https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kyouiku/gakoen/kakogawachugakkoku/kakogawachugakko/index.html> ■■■

活用の概要

- 令和5年度4月より、毎日の朝の学習時間（10分間）に、週替わりで各教科の問題を配信し、活用。
 （第1学年から活用をはじめ、全学年でも順次活用予定）
 国語：ちばっ子チャレンジ100、さいたま基礎学力定着プログラム
 数学：高砂計算検定、全国学力・学習状況調査（小学校過去問題）
 社会：ちばのやる気学習ガイド、岩手県小学校学習定着度状況調査
 英語：ちばのやる気学習ガイド、幸手市中学校パワーアップシート
- 第1学年の朝の学習では、振り返り学習の教材として、小学校の問題を活用。
- 第2学年では、ゴールデンウィークの課題として活用。
 数学：幸手市中学校パワーアップシート
 （振り返り学習の教材として、中学校1年生や2年生の既習内容の問題を活用。）



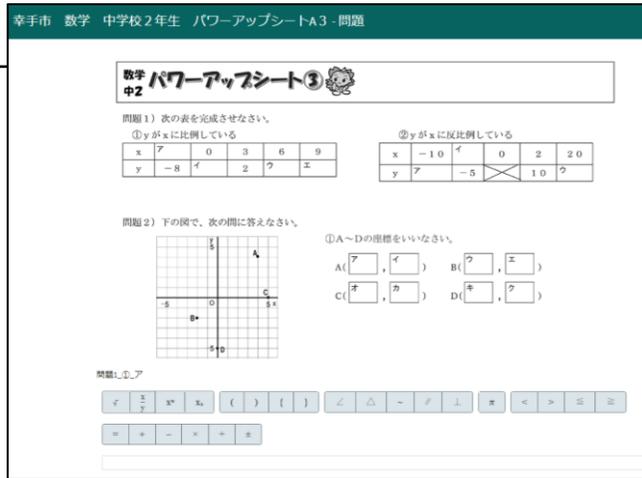
朝の学習時間での活用風景

子どもたちの反応

- 各々が自分のペースで進めている。
- 自分の課題に応じた問題を解くことができている。

先生の反応

- 【よいこと】
- ◇業務を軽減することができた。
 - ・教員が問題を印刷して生徒に配付する必要がなくなった。
 - ・自動採点により、生徒が結果を一目で確認することができた。
- 【改善してほしいこと】
- ◇MEXCBTのシステムに合致しない問題がある。
 - ・分数や指数の入力が難しい。
 - ・記述式の問題などで模範解答が正答例と示されている問題があり、生徒が正答を自分だけで判断することが難しい場合がある。
 - ◇評価方法の検討が必要である。
 - ・MEXCBTと他のツール（Googleドキュメントやスライドなど）を併用して、振り返りと対策を生徒が各々で行う形式を検討中。



幸手市中学校パワーアップシート

今後の活用

- 本校の活用方法に合う問題作成を積極的に行っていきたい。
- ドリル学習のみとならないような活用方法（事後の取り組みなど）を検討していきたい。
 （生徒のレベルに応じた学習が進められるように、問題選択の多様化を検討中）

※ 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。
 ※ 模範解答については、順次改訂をしております。